



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タダノ

コード番号 6395 URL <http://www.tadano.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田野 宏一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画管理部部長 (氏名) 橋倉 莊六

TEL 087-839-5600

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 平成25年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	86,754	38.9	10,313	142.2	10,496	195.0	7,359	235.9
25年3月期第2四半期	62,462	23.9	4,257	94.1	3,558	117.5	2,190	93.6

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 10,116百万円 (667.7%) 25年3月期第2四半期 1,317百万円 (△27.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	58.05	—
25年3月期第2四半期	17.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	188,161		95,896		50.5
25年3月期	177,611		86,674		48.4

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 95,030百万円 25年3月期 85,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
26年3月期	—	9.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	175,000	29.8	19,200	75.7	18,700	63.3	12,000	63.5	94.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	129,500,355 株	25年3月期	129,500,355 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,725,795 株	25年3月期	2,701,046 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	126,787,384 株	25年3月期2Q	126,945,516 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、円安効果による輸出の持ち直し、生産の増加や企業収益の改善に加え、個人消費も底堅く推移し、景気は着実に回復しております。米国経済は回復傾向が続き、欧州経済は下げ止まったものの、新興国の一部には減速の動きが見られております。

私どもの業界は、国内では復旧・復興等にともなう稼働率上昇が老朽化による買い替えや新規需要を喚起し、海外ではエネルギー・インフラ関連を中心に北米・東南アジア・中東等で需要が増加しました。

国内売上高は、建設用クレーン・車両搭載型クレーン・高所作業車が揃って増加し、371億3千万円（前年同期比117.3%）となり、海外売上高は、円安及び一部地域の旺盛な需要を背景に増加し、496億2千3百万円（前年同期比161.0%）となりました。この結果、総売上高は、867億5千4百万円（前年同期比138.9%）となりました。なお、海外売上高比率は、57.2%となりました。

経常利益につきましては、販売価格の適正化や円安効果、操業度の改善等による粗利増加に加え、為替差益3億5千1百万円の計上もあり、104億9千6百万円（前年同期比295.0%）となりました。四半期純利益につきましては、73億5千9百万円（前年同期比335.9%）となりました。

この結果、3年連続の増収増益となり、利益は過去最高を更新しました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

1) 日本

建設用クレーン・車両搭載型クレーン・高所作業車の売上が揃って増加し、売上高は670億円（前年同期比127.8%）となり、営業利益は88億7千3百万円（前年同期比280.0%）となりました。

2) 欧州

建設用クレーンの売上が製品の大型化とシェアアップにより欧州域内・域外共に増加し、売上高は201億1千8百万円（前年同期比163.5%）となり、営業利益は5億5千3百万円（前年同期比178.2%）となりました。

3) 米州

建設用クレーンの売上増加により、売上高は173億1千2百万円（前年同期比166.8%）となり、営業利益は17億5千1百万円（前年同期比219.8%）となりました。

4) その他

建設用クレーンの売上増加により、売上高は87億8千7百万円（前年同期比150.3%）となり、営業利益は4億7千万円（前年同期比116.2%）となりました。

主要品目別の状況は次のとおりです。

1) 建設用クレーン

国内売上につきましては、需要が増加する中、新排出ガス規制対応製品の拡販に注力し、146億9千6百万円（前年同期比126.7%）となりました。

海外売上につきましては、円安及び北米・東南アジア・中東等の需要増加を背景に、428億2千7百万円（前年同期比172.6%）となりました。

この結果、建設用クレーンの売上高は、575億2千4百万円（前年同期比158.0%）となりました。

2) 車両搭載型クレーン

国内売上につきましては、トラック需要の増加と搭載率が高水準で推移したことにより、80億3千6百万円（前年同期比119.0%）となりました。

海外売上につきましては、7億6千8百万円（前年同期比101.4%）となりました。

この結果、車両搭載型クレーンの売上高は、88億5百万円（前年同期比117.3%）となりました。

3) 高所作業車

設備投資意欲が旺盛なレンタル業界向け需要を背景に、高所作業車の売上高は、67億6千万円（前年同期比116.4%）となりました。

4) その他

部品、修理、中古車等のその他の売上高は、136億6千4百万円（前年同期比107.3%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況に関する分析

(資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末に比べ105億5千万円増加の1,881億6千1百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加48億2百万円や受取手形及び売掛金の増加6億1千5百万円に加え、たな卸資産の増加28億6千6百万円や有形固定資産の増加15億8千7百万円があったことによるものです。

(負債の状況)

負債は、前連結会計年度末に比べ13億2千7百万円増加の922億6千4百万円となりました。主な要因は、流動負債その他の減少19億8千8百万円があったものの、支払手形及び買掛金の増加7億5千万円や未払法人税等の増加22億5千9百万円に加え、退職給付引当金の増加2億3千5百万円があったことによるものです。

(純資産の状況)

純資産は、前連結会計年度末に比べ92億2千2百万円増加の958億9千6百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加64億7千2百万円や為替換算調整勘定の増加23億7千万円があったことによるものです。

キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ47億2千2百万円増加の442億3千4百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は、76億7千9百万円となりました。主な要因は、仕入債務の減少8億6千4百万円や法人税等の支払19億5千7百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上104億9千6百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用された資金は、19億6千5百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得19億6千6百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用された資金は、21億8千1百万円となりました。主な要因は、短期借入金の純減6億6千3百万円や長期借入金の返済による支出4億7千万円に加え、配当金の支払額8億9千9百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年10月29日付けで業績予想を変更しております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,582	44,384
受取手形及び売掛金	40,820	41,435
商品及び製品	23,233	23,552
仕掛品	13,350	14,783
原材料及び貯蔵品	8,758	9,871
繰延税金資産	2,872	4,054
その他	4,302	3,710
貸倒引当金	△774	△814
流動資産合計	132,144	140,977
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,762	10,430
機械装置及び運搬具(純額)	2,610	2,903
土地	20,135	20,412
リース資産(純額)	334	315
建設仮勘定	458	526
その他(純額)	1,283	1,583
有形固定資産合計	34,584	36,172
無形固定資産		
	776	885
投資その他の資産		
投資有価証券	6,577	7,112
繰延税金資産	1,037	656
その他	2,875	3,233
貸倒引当金	△385	△877
投資その他の資産合計	10,105	10,125
固定資産合計	45,466	47,183
資産合計	177,611	188,161

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,094	31,844
短期借入金	15,454	16,066
リース債務	208	192
未払法人税等	2,008	4,267
引当金	1,415	1,621
未払金	3,635	3,614
割賦利益繰延	193	161
その他	5,993	4,005
流動負債合計	60,005	61,774
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	2,677	2,028
リース債務	365	334
繰延税金負債	165	163
再評価に係る繰延税金負債	2,455	2,455
退職給付引当金	4,736	4,971
その他	531	537
固定負債合計	30,931	30,490
負債合計	90,937	92,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,021	13,021
資本剰余金	16,846	16,846
利益剰余金	61,272	67,744
自己株式	△2,383	△2,417
株主資本合計	88,757	95,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,445	1,788
土地再評価差額金	294	294
為替換算調整勘定	△4,618	△2,248
その他の包括利益累計額合計	△2,878	△164
少数株主持分	794	866
純資産合計	86,674	95,896
負債純資産合計	177,611	188,161

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	62,462	86,754
売上原価	47,635	63,007
割賦販売利益繰延前売上総利益	14,826	23,746
割賦販売未実現利益戻入額	138	98
割賦販売未実現利益繰入額	40	66
売上総利益	14,924	23,778
販売費及び一般管理費	10,667	13,464
営業利益	4,257	10,313
営業外収益		
受取利息	44	48
割賦販売受取利息	36	20
受取配当金	64	62
為替差益	—	351
その他	168	75
営業外収益合計	313	559
営業外費用		
支払利息	280	288
貸倒引当金繰入額	277	—
為替差損	371	—
その他	83	88
営業外費用合計	1,013	376
経常利益	3,558	10,496
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除売却損	28	1
投資有価証券評価損	72	—
会員権評価損	3	—
特別損失合計	104	1
税金等調整前四半期純利益	3,454	10,496
法人税、住民税及び事業税	1,121	4,076
法人税等調整額	166	△912
法人税等合計	1,287	3,163
少数株主損益調整前四半期純利益	2,166	7,333
少数株主損失(△)	△23	△26
四半期純利益	2,190	7,359

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,166	7,333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△684	343
為替換算調整勘定	△164	2,440
その他の包括利益合計	△849	2,783
四半期包括利益	1,317	10,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,340	10,073
少数株主に係る四半期包括利益	△22	43

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,454	10,496
減価償却費	1,042	1,102
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	466	442
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△19	163
割賦利益繰延の増減額 (△は減少)	△98	△32
受取利息及び受取配当金	△108	△111
割賦販売受取利息	△36	△20
支払利息	280	288
為替差損益 (△は益)	74	△109
投資有価証券評価損益 (△は益)	72	—
固定資産除売却損益 (△は益)	28	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	1,772	96
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,287	△136
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,119	△864
その他	△1,521	△1,524
小計	240	9,789
利息及び配当金の受取額	108	116
割賦販売受取利息の受取額	30	17
利息の支払額	△276	△286
法人税等の支払額	△542	△1,957
営業活動によるキャッシュ・フロー	△439	7,679
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	—	△80
有形固定資産の取得による支出	△788	△1,966
有形固定資産の売却による収入	4	3
投資有価証券の取得による支出	—	△10
投資有価証券の売却による収入	13	—
その他	△15	87
投資活動によるキャッシュ・フロー	△785	△1,965
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,820	△663
長期借入れによる収入	517	—
長期借入金の返済による支出	△927	△470
自己株式の取得による支出	△10	△34
自己株式の処分による収入	0	0
配当金の支払額	△888	△887
少数株主への配当金の支払額	△13	△11
その他	△106	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	391	△2,181
現金及び現金同等物に係る換算差額	50	1,189
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△784	4,722
現金及び現金同等物の期首残高	40,155	39,511
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,371	44,234

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合 計	調 整 額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日 本	欧 州	米 州	計				
売 上 高								
外部顧客への売上高	38,745	7,797	10,222	56,765	5,697	62,462	—	62,462
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,699	4,505	156	18,362	148	18,510	△18,510	—
計	52,445	12,303	10,379	75,128	5,845	80,973	△18,510	62,462
セグメント利益	3,169	310	796	4,276	405	4,681	△424	4,257

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アジア及びオセアニア等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、主なものとして、セグメント間未実現利益調整額△424百万円が含まれております。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合 計	調 整 額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日 本	欧 州	米 州	計				
売 上 高								
外部顧客への売上高	48,520	12,415	17,240	78,175	8,578	86,754	—	86,754
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,479	7,703	72	26,256	209	26,465	△26,465	—
計	67,000	20,118	17,312	104,431	8,787	113,219	△26,465	86,754
セグメント利益	8,873	553	1,751	11,177	470	11,648	△1,334	10,313

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アジア及びオセアニア等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、主なものとして、セグメント間未実現利益調整額△1,334百万円が含まれております。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。